

世帯と人口

(12 月 1 日現在)

世 帯	43,125	(+317)
人 口	118,242 人	(+658)
男	60,449 人	(+326)
女	57,793 人	(+332)

この数値は平成12年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の 1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

ジャンボかるた(海老名郷土かるた、4・5面に関連記事)にもうたわれる大ケヤキの前で談笑する亀井市長と海老名小学校児童



新世紀大樗のように

新年あけましておめでとうございます。
輝かしい新世紀のスタートを11万8000人の市民の皆様と共に祝いしたいと思います。今年は、本市におきましては、市制施行30周年を迎える記念の年でもあります。この節目の年に21世紀を迎えられたことで、決意も新たに第三次総合計画に掲げた将来都市像「ゆとりと活力のあるまち海老名」実現に向けて、市民福祉等の充実をはじめ、市民サービスの一層の向上を図っていきます。と同時に、市民の皆様の長年の念願であった海老名駅周辺開発も、今まで以上に本格化していく年でもありますので、多くの人が「海老名市に住んでよかった」と実感できるまちづくりを推進していきたいと考えております。

30年という月日を人生にたとえれば、精神の成熟期、本当の意味で一本立ちする時期であるといえます。また、これまでにとだけ自分が知識や経験を蓄えてきたかどうか試される時期ではないかと思ひます。私はかねてより「人つくりこそまちづくり」という行政指針を掲げ、「畑」を耕し、「苗」を植えてきました。人つくりの一つには市職員としての資質向上があげられますが、これはすべての発展につながっていくものだと思います。いわゆる技術や能力の上達だけでなく、行政に携わる者としての心の成長が求められ、職員自らが率先し、市民との協働の中で動いていく時代であると思ひます。

年頭所感

市長 亀井英一

人、とりわけ子どもの成長は、植物の生長に例えられることがあります。根無し草ではなく大地にしっかりと根付いて、雨風に負けず元気に育ってほしいという大人たちの願いの表れなのでしょう。教師として長い間子どもたちと接してきた私にとっても、幾度となく生徒に対し「しっかりと真っ直ぐに大きくなるんだよ」と声をかけてきたことが思い出されます。

写真は国分南にある「大樗」です。これは、いまから500年ほど前からこの地に存在し、しっかりと大地に根を張ってこのような大木に成長しました。海老名駅から大山にむけて広がる景色の移り変わりを何世紀にわたって見守り続けたこの大木が、21世紀を迎えた海老名市の大きな発展を見続けていくことを願ってやみません。

自治体を取り巻く社会経済環境は非常に厳しい状況にあります。市民のための行政運営」を基本に皆様の信頼と期待に応えられるよう努力していく所存でありますので、「ご理解とご協力を賜りますようお願いし、年頭の所感といたします。